



ほっと福岡

No.40 2019年9月発行

東京パラリンピック 新競技種目を紹介！

目 次	
〔表紙〕東京パラリンピック新競技種目を紹介！	
あゆみ学園のボランティアを紹介します！	3
居宅訪問型児童発達支援を開始しました	4
<特集1> 福岡市障がい者基幹相談支援センター	6
<特集2> 就労継続支援 B 型（ももち福祉プラザ）	8
シリーズ「専門職員のしごと」 vol.10	9
企画イベント・研修・セミナー情報等	10
平成30年度 事業報告・決算報告	12

来年開催される「東京パラリンピック」では、22の競技種目が開催されます。なかには、障がい者特有の競技やルールがあり、障がいの公平性を保つためにクラス分けなど（障がい程度によって個人に与えられる）があります。今回は、2020年の東京パラリンピックから初めて実施されることが決まった競技を、2つ紹介します。ぜひ注目してください！

パラテコンドー



Clean Hit!!!

パラテコンドーでは、上肢に切断や機能障がいのある選手が出場します。

一般的なルールはおおむね健常者テコンドーと同じで、1試合につき2分間のラウンドを3ラウンド行い、ポイント数を競う「ポイント制」で勝敗を決めます。攻撃は着用するプロテクターに対してのみ可能で、頭への攻撃が禁止されています。ポイントは、胴体への3種類の蹴り技のみ有効で、その有効な蹴りは1回2点で、180度の回転が加わった後ろ蹴りは3点、後ろ蹴りから軸足を入れ替えて、計360度の回転蹴りは4点となります。

3ラウンド終了時点で同点の場合は、時間内に1点先取した選手が勝ちとなるゴールデンポイントラウンドに進みます。その時間内に勝敗が決まらない場合は、主審のジャッジにより勝敗が決まります。また、攻撃で倒れた後、10カウント以内にファイティングポーズが取れない場合の「KO」や、セコンドが試合を中止させる「TKO」でも勝敗が決まります。

競技は障がいの程度に応じて、以下のとおり4つのクラスに分けられます。

クラス	区分内容
K 4 1	両腕の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さよりも短い
K 4 2	片腕の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さよりも短い 両肘関節から上の欠損で、残っている腕の長さが両腕とも既定の長さ以上ある
K 4 3	両肘関節よりも下かつ、両手関節よりも上の両腕欠損
K 4 4	片腕に機能障がいや麻痺がある 片手関節より上の欠損で、残っている腕の長さが既定の長さ以上ある



華麗な足技や突きは必見！